

次回（7/7）の演習について

次回の演習ではデータベースを実際に使って論文調査をします。

そのため次回の演習開始までに、以下の2つを済ませてください。

1. 自分が調査したいテーマを決める
2. そのテーマを研究している京大の教員を探す

※京大に適切な教員がいなければ、他大学の教員でも構わない

1. テーマ設定のコツ

- 基本的には自分の興味があるテーマ
- そのテーマでレポートを書くことを想定して設定すること
- 最新の話題すぎると研究成果がまだ出ていない場合がある
- テーマが広すぎる場合は、他のキーワードの中から興味を持ってそうなものを選んで、組み合わせしてみる。
- テーマが狭すぎる場合はその上位概念を考えるなどして、工夫してみてください。

1. テーマ設定のためのキーワード例

- グローバル化
- 多様性
- 格差
- 人権
- 景観
- 食料
- 気候変動
- 災害復興
- レジリエンス
- 発達障害
- 生活習慣病
- 感染症
- ノーベル賞
- オープンサイエンス
- AI（人工知能）
- 人類史
- SNS
- インターネット

テーマ作成例)

「AI」だけでは広い

➤ AIの人権

➤ AIと防災（「災害復興」の関連語との組み合わせ）

「仮想通貨と消費者法」は狭い

➤ 仮想通貨と法律

「感染症」の関連語と「人類史」の上位概念を組み合わせ

➤ パンデミックの歴史

2. 教員を探す方法

- 特に指定はしません。本日の講義の内容を念頭に、インターネットを使って、自分なりに探してみてください。
- そのテーマを研究している京大の教員が見つからない場合は、他大学の研究者でも構いません。
- 京大の教員の研究活動については「京都大学 教育研究活動データベース」で検索することが出来ますので活用してください。
<https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/view/>